

令和5年度 第1回

君津市文化財審議会会議録

日時：令和5年7月5日（水）午後2時～

場所：君津市生涯学習交流センター 202会議室

## 令和5年度 第1回文化財審議会会議録

- 1 日 時 令和5年7月5日（水） 午後2時開会 午後4時15分閉会
- 2 場 所 君津市生涯学習交流センター 202会議室
- 3 出席委員 木曾野正勝（会長／古文書）、小高春雄（考古（城郭））、高橋 克（民俗）、御簾納照雄（副会長、自然）、宮本敬一（考古）、渡邊茂男（中近世史）  
※欠席委員 館石亮行（近世史・仏教史）
- 4 出席職員 生涯学習文化課長 塚越直美、文化振興担当主幹 當眞紀子、文化振興係長 中花彩乃（次第3まで）、文化財主事 朝倉 唯、文化財主事 曾我真実子、久留里城址資料館副館長 平塚憲一
- 5 会議の議題 (1) 令和4年度文化財関係事業報告について  
(2) 令和5年度文化財関係事業計画について  
(3) 令和5年度文化財審議会計画について  
(4) その他
- 6 公開または非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 次 第 1 開会  
2 会長あいさつ  
3 事務局職員紹介  
4 報告・協議事項  
(1) 令和4年度文化財関係事業報告について  
(2) 令和5年度文化財関係事業計画について  
(3) 令和5年度文化財審議会計画について  
(4) その他  
5 閉会

### 9 会議の内容（次第4 報告・協議事項より）

#### （木曾野会長）

それでは報告・協議事項の(1)令和4年度文化財関係事業報告について、事務局の説明を求めます。生涯学習文化課関係事業、久留里城址資料館事業を続けてお願いします。

#### （1）令和4年度文化財関係事業報告について

##### （曾我文化財主事）

生涯学習文化課事業は、No.1から13までの13事業ございますが、主なものについて説明いたします。

No. 1 文化財審議会は、7月と3月に会議開催、12月には貞元地区で発掘調査を実施していました富吉遺跡の現地調査を行いました。

No. 2 高宕山のサルによる被害防止管理事業は、天然記念物「高宕山のサル生息地」と周辺の地域のサルによる被害防止、生態調査等を「天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団」へ委託し実施しました。被害防止管理委員会会議は、7月は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため書面開催としましたが、3月は対面で会議を開催いたしました。

No. 3・4 漁業資料館の事業は、令和4年度入館者数は696人、新型コロナウイルス対策で休止していたノリつけ体験は7月15日から再開し、周南小学校の校外学習での実施が1回ありました。また、1月10日から2月26日の期間、中央図書館ギャラリーにて、資料館が所蔵する埋め立て以前の写真を活用した、出張写真展を開催しました。

No. 5 秋元城跡管理事業では、地域の団体により除草作業等を行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と団体会員の高齢化もあり実施しませんでした。

No. 9 埋蔵文化財発掘調査事業は、民間開発発掘事業はなし、国県補助金対象事業は個人住宅建設に伴うもの2件、公共事業に伴うものは保育園建設に伴う1件の発掘調査を実施しました。

No. 11 文化財活用事業です。小中学生の体験学習「歴史kids隊」では、夏休み期間中に市内公民館4館と共催し、土器づくり体験3回、組紐づくり体験を1回開催しました。昨年度の3月の審議会で、募集定員を設けた講座は定員と参加者の両方の報告がないと正しい評価ができない、というご意見がありましたので、今回は定員も記載しました。土器づくりは各回定員20人に対し、周西公民館での開催19人、小櫃公民館10人、中央公民館20人でした。組紐づくりは上総公民館での開催で定員10人に対し、参加者3人でした。令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として参加者の学区が限定できる公民館との共催という方法をとりましたが、開催場所により参加人数に差がありました。第27回となった出土遺物公開展は「上湯江人～土に埋もれた歴史を探る～」というテーマで、主に令和2年度に発掘調査をした上湯江遺跡の調査成果を、生涯学習交流センターにおいて展示しました。見学者数は294人でした。

No. 12 スクールミュージアム事業は、重点実施校の小櫃小・八重原小・周南小の3校で、周辺の遺跡巡り、自然観察会、勾玉づくり体験等のプログラムを計画通り実施しました。このほか、貞元小・外箕輪小の2校から学区周辺の歴史学習の希望があり、生涯学習文化課職員が講師で実施しました。

No. 13 無形民俗文化財等保存事業補助金は、市指定の「神馬（おめし）」「六手の神楽ばやし」「やぶさめ」の3団体が実施しましたので、補助金を交付しました。また、県記録選択文化財ですが、清和市場の「房総のミカリ習俗」も実施しております。

以上で、令和4年度事業報告を終わります。

### （平塚副館長）

久留里城址資料館の令和4年度事業を報告します。昨年度3月の審議会会議で、すでに実績が出ていた事業は報告しておりますので、それ以外のものを中心に説明いたします。

昨年度は感染症対策に留意しつつ、開館日数は295日、入館者数は15,970人でした。

企画展は、「不思議な水の穴ー川廻し・二五穴・上総掘りー」を開催しました。今回は、君津市で行われた「全国名水サミット in きみつ」の日程、9月24日・25日にあわせて会期を設定しました。企画展に伴って講演会や映像上映会などの関連事業も実施し、市の特徴的な水利形態について発信しました。

資料館講座などの教育普及事業は、計画通り実施できました。「企画展関連講座」「組紐のブレスレットづくり」「やってみよう上総掘り体験」「城を歩こう」「森林鉄道の廃線を歩く」「古文書講座・入

門編」などを行いました。昨年度末には、令和元年房総半島台風で被害を受けた登城道の復旧記念イベント「小和田泰経さんと攻める！久留里城」を開催しました。たいへん盛況で参加者は50人でした。

このほか、バックヤード的な業務として資料保存に気を配り、また広報活動、他機関との連携、施設維持補修につとめました。

以上で、久留里城址資料館の事業の報告を終わります。

**(木曾野会長)**

ありがとうございました。

事務局の説明が終わりました。何かご意見ありますか。

**(木曾野会長)**

ございませんか。昨年度3月の会議で、主な事業については報告・協議をしましたからね。

なしということで、(1)は終了します。

それでは(2)令和5年度文化財関係事業計画について、事務局の説明を求めます。

**(2)令和5年度文化財関係事業計画について**

**(朝倉文化財主事)**

生涯学習文化課事業について、主なものについて説明いたします。

No.1文化財審議会は、会議3回を予定しています。1回目の会議が本日7月、以降2回の会議開催を予定しています。

No.2高宕山のサルによる被害防止管理事業は、国の天然記念物「高宕山のサル生息地」と周辺地域のサルによる被害防止に努めるとともに、サルの適正な生息環境の保全等を図るため、指定地が跨る君津市と富津市両市が「天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団」へ業務委託しています。被害防止管理委員会を年2回、7月と2月の開催を予定しています。

No.9埋蔵文化財発掘調査事業では、国県補助金事業の市内遺跡、民間開発、公共事業に伴う調査をそれぞれ予定しております。補助金対象の市内遺跡は、個人住宅に伴う調査2件を4月中旬から5月末の期間内に実施いたしました。民間開発に伴う調査は、7月3日から1件開始しています。このほか、協議中のものが数件あります。公共事業に伴う調査は、昨年度貞元の保育園建設に伴う富吉遺跡の調査成果の整理・報告書作成作業を7月3日から開始し、来年の3月末までの予定で実施中です。このほか、貞元の保育園関係で道路の拡幅工事に伴う発掘調査を9月中旬頃から実施予定です。現在協議中の民間開発に伴う調査の協議が整えば、さらに調査が増える予定になっております。

No.11文化財活用事業です。歴史Kids隊は、学校の夏休み期間である7月31日と8月1日の午前午後計4回、生涯学習交流センターにて、土器づくり体験を行います。今年度は、募集方法を新型コロナウイルス感染症拡大以前の方法、市内小学校にチラシを配布する方法に戻しました。各回定員20人で、7月1日より申し込みを開始したところ、すでに定員に達し募集は締め切りました。出土遺物公開展は、12月12日から24日まで中央図書館、1月5日から2月4日まで久留里城址資料館を会場に実施予定です。また、今年度は久留里城址資料館企画展との連携企画として、11月に中央図書館を会場に、県指定「長板中形」の展示・講演会を開催予定です。

No.13の無形民俗文化財保存事業については、規模の縮小等はあるつつも、対象の保存会の多くが活動を再開すると聞いております。日が近いものでは、7月22日は人見神社「神馬」、8月5日は大戸見の神楽が奉納予定です。以上、説明を終わります。

**(平塚副館長)**

久留里城址資料館の令和5年度事業計画についてご説明いたします。

企画展は、千葉県指定無形文化財「長板中形」を、保持者である松原さんの作品を通して紹介する内容を予定しています。もともと令和元年度に実施予定でしたが、9月の台風15号で資料館が被災したため、とりやめていた企画です。その後、コロナ禍もあり実施を見送っていましたが、松原さんの意向も確認し、今年度実施することとなりました。生涯学習文化課との連携も令和元年度に予定していたものです。

展示事業としては、すでに終わりましたが、4月29日から5月28日の期間で、新井白石複製資料公開のミニ展示を開催しました。

教育普及事業としては、「古文書講座・初級編」を5月下旬から実施しております。敬遠されがちな古文書について、初心者の方でも解説にチャレンジできる内容としております。毎回20人以上の参加があります。

続いて、常設展「郷土を掘る」コーナーのリニューアルを記念し、常代遺跡の木製品に関連して、「弥生農耕の実像を探る」と題し、外部講師による講演会を開催します。

博学融合事業として、市内小学校などの授業における博物館利用や、昔の生活道具を用いた出前授業を行います。大学生の博物館実習受け入れは現在のところ予定なしです。地元中学校からの職場体験の依頼が今後あるかもしれません。

このほか、展示室と収蔵庫の定期清掃と点検などは、引き続き行っています。施設維持補修については、5月の地震と6月の大雨により、登城道や天守閣に被害がありました。その影響で、当初予定していた修繕や環境整備のスケジュールを変更せざる得ない状況です。自然災害による被災状況は後ほど詳しく説明いたします。

以上、簡単ですが、事業計画の説明を終わります。

**(木曾野会長)**

事務局の説明が終わりました。何か質問、ご意見等がありますか。

**(高橋委員)**

久留里城址資料館には、博物館友の会はないのですか。

**(平塚副館長)**

ありません。関係団体では、久留里のまちなかを案内する、くるりボランティアガイドの会があります。

**(高橋委員)**

袖ヶ浦市では市民学芸員の制度があります。資料館でもやってみたら面白いのではないのでしょうか。

博物館がイニシアティブをとれる市民とのネットワーク、情報交換や共有ができる場所があれば、事業の幅も情報の量も広がると思います。すべてを市の学芸員だけでやるのは大変です。

**(平塚副館長)**

市民の方に資料館の運営推進協力員というかたちで事業への意見や助言をいただいたり、コツコツ調査隊などと称した事業参加者に、学芸員の仕事をお手伝いしてもらうこともあります。

**(高橋委員)**

どのような形でも、どのような立場の人でもいいのですが、博物館が情報を集められる場があるといいですよ。市民から市内の情報を吸い上げるような、市民が資料館に情報をくれるようなネットワークづくりが必要になってくると思います。

**(木曾野会長)**

市民と博物館が連携することは大切なことですね。

**(平塚副館長)**

ネットワークづくりは工夫していきたいです。来館者や事業参加者とのコミュニケーションのなかで、その人の得意不得意も見つげながら進めていければと思います。現在、デジタル分野に強い協力員と資料目録の整理を一緒に行っています。

**(渡邊委員)**

久留里城址資料館の事業は、その立地からか小櫃川流域の内容が中心になっている。小糸川流域の歴史の積み上げも必要です。公民館事業と連携する際に市民と交流し、市民も参加できるしくみづくりができれば、調査・研究の裾野が広がっていくと思います。

**(木曾野会長)**

久留里城址資料館の職員が併任で、清和で事業を行う体制とかできればと思いますが、清和の地域拠点での実施とかはどうですか。

**(塚越課長)**

人員体制やその他のこともまだ決まっておらず今はお話できませんが、いただいた意見は参考にさせていただきます。

**(木曾野会長)**

清和の旧秋元小を中心に拠点づくりを進めていますが、地元の意見として、その中に地域の歴史を知れるコーナーをつくってほしいと要望しています。新しい拠点施設には、地元だけでなく外部の人にも多く来訪して欲しい。その魅力の一つとして、すぐ近くにある秋元城跡がいいのではないかと思います。いつ来ても見学でき、さらにはボランティアガイドもできればと、公民館にも協力してもらい試行中です。最近、秋元城に行きましたが、令和元年台風時の倒木や雑草が伸びていて、以前のような状態ではありませんでした。地元の地権者も高齢化し、除草作業が難しくなっているようですね。こういう草刈りも、市がやればいいのか、地権者がやればいいのか、地域ぐるみで継続していけるしくみはないかなと考え中です。生涯学習文化課にも協力をお願いします。

他に、質問・意見ありますか。

**(小高委員)**

高岩山のサル生息地について、被害防止管理事業調査団の組織はどのような組織ですか。予算は委託費ですか。

### **(朝倉文化財主事)**

昭和55年の本事業開始以来、生態調査・被害実態調査・生息環境調査等を行っている任意団体で、サル研究者やサルの生態に詳しい方たちにより組織されています。予算は委託費で、指定範囲やその周辺の電気柵の改修や電波発信機装着のための捕獲、発信機装着個体の遊動域の調査、環境改変調査等の業務を行っています。

### **(宮本委員)**

調査団の実態はどうですか。あと、天然記念物「高宕山のサル生息地」の指定対象のサルの群れはわかっているのですか。

### **(當眞文化振興担当主幹)**

調査団メンバーの世代交代がなく、事業開始以来のメンバーが現在も活動しており、高齢化が進んでいます。高宕山の場合、天然記念物指定は生息地であって、サルの群れというか、種を指定しているものではありません。動物は自由に遊動していますから、対象群れを特定することは難しいです。指定当時の対象群れは、現在は富津市の指定地域外の場所を主な生活域としています。現在の対象群れはどれなのかを調べるために、電波発信機の装着や装着個体の追跡調査を継続して行っています。そのデータの積み重ねをもって、文化庁などとも協議していくのですが、生き物が相手ですので、こちらの思う通りになかなか進まないのが現状です。電波発信機装着に適した個体捕獲も年によって増減します。昨年度から、本事業においてもGPS対応の電波発信機を一部導入し、効率的にデータを得られるようになりました。君津市と富津市は天然記念物の管理団体ですので、連携して事業を実施しているところです。

### **(小高委員)**

調査団の調査成果は報告していますか。

### **(朝倉文化財主事)**

毎年、調査報告書を作成しています。市の中央図書館で開架していますので閲覧できます。

### **(小高委員)**

調査成果をどう活用しているかが大事ですね。千葉県内の他の地域で天然記念物を民間団体が管理しているところがありまして、民間といっても管理経費は行政からきているようですが、10年後までもつか心配だと聞いたことがあったので、高宕山はどうなのかなと思い質問しました。あと、天然記念物の保護は、文化財部局だけではうまくいきません。縦割りではなく、関係部局と協力して進めていってください。

### **(木曾野会長)**

天然記念物保護は、文化財側だけでは難しい側面がありますから、関係課と協力して進めてください。

他にないようですので、次に(3)令和5年度文化財審議会関係事業計画について、事務局の説明を求めます。

### (3) 令和5年度文化財審議会計画について

#### (眞文化振興担当主幹)

今年度の審議会は本日を含め3回開催予定です。

2回目は11月中旬、資料館の企画展の視察を予定しております。第3回会議は1月下旬を予定しております。年度内に現地調査が必要な案件が発生した場合は、そちらを優先し、適宜日程調整いたしますのでご協力ください。

#### (木曾野会長)

わかりました。この件について、何かご意見ありますか。

—異議なし—

#### (木曾野会長)

それでは、事務局よろしくお願ひします。

(4) その他について、事務局の説明を求めます。

### (4) その他

#### 県指定「常代遺跡木製品」について

##### (曾我文化財主事)

昨年度に報告しました他機関への貸出中に毀損した木製品1点については、修理が完了し市へ戻ってまいりました。昨年度はこの他にも木製品の毀損がありましたので、この4月下旬には、千葉県文化財保護審議会委員による調査を久留里城址資料館にて行いました。昨年度、県文化財課から、常代遺跡の木製品は保存処理後約20年が経過し、資料強度が劣化している可能性があるため、再処理等を検討する時期ではないかという指摘をうけての調査実施でした。実見した結果、木製品の状態はそれほど悪くないという所見でした。また、展示品が固定化しているようなので、収蔵している木製品を定期的に入れ替え、その際に資料の状態を確認し、修理や再処理を実施していくとよい、というアドバイスをいただきました。現在、毀損しているもの2点と県の調査時にクリーニング等が必要とされた2点の計4点について、令和6年度の修理実施に向けて予算要求していきます。

#### 久留里城址資料館常設展のリニューアルについて

##### (平塚副館長)

資料館の常設展「郷土を掘る」のコーナー、主に考古分野の展示ですが、生涯学習文化課の曾我さんの協力をいただきながら学芸員の鈴木が担当し、7月1日からリニューアルしました。君津市全域の地図を用いて主だった遺跡を示したり、近年の発掘調査で得られた出土品を活用した展示となっています。常設展の大きな展示替えは久しぶりですが、今後は、収蔵庫にある考古資料も定期的に出して見ていただけるようにしたいと考えています。

##### (曾我文化財主事)

君津の歴史を教科書に沿った形でみられるよう、旧石器時代から奈良・平安時代まで、発掘調査で出土した君津市所蔵の資料を活用しました。弥生時代では、県指定の常代遺跡出土の木製品の入れ替えと、これまで展示していなかった方形周溝墓から出土した壺も展示しています。古墳時代では、小糸川流域の市宿横穴墓群・小櫃川流域の戸崎古墳群出土の玉類を展示しました。特に、戸崎古墳群出



土の子持ち勾玉は、君津市で1点しか出土していません。奈良・平安時代では、九十九坊廃寺跡出土の瓦等を展示しています。

#### (宮本委員)

九十九坊廃寺跡といえば定型的な軒丸瓦がありますけど、それは展示していないのですか。県が九十九坊廃寺跡を発掘調査した際、創建時期を示す軒丸瓦が出土していますが、そういう代表的な資料を展示すべきだと思います。この地域で古代の寺院跡の存在は貴重です。

#### (曾我文化財主事)

今回は常設展リニューアルなので、君津市が調査した出土品を活用しているため、他機関からの借用はしていません。

#### (宮本委員)

県が調査した遺跡の出土品は、その多くを県が保管しています。その資料の貸し出しについて、ぜひ県教委に相談してみてください。九十九坊廃寺跡を理解するには必要な資料です。

#### (當眞文化振興担当主幹)

常設展での借用となりますので、こちらが希望する資料だけの貸し出しが可能かどうかを含め、相談してみたいと思います。

### 久留里城址資料館入館者100万人達成関連事業について

#### (平塚副館長)

昭和54年の開館以来、今年度で45年目を迎える資料館ですが、7月下旬から8月上旬に入館者が100万人に到達する見込みです。100万人目の方には、記念品の贈呈や記念写真撮影などを行い、許可が得られれば「広報きみつ」に掲載する予定です。

また、入館者100万人を記念した桜の植樹を行います。これは天守閣前の枯れている桜を伐採し、新たに桜を植樹するものです。登城道の路肩崩落の復旧工事が終わったのちの実施となりますので、令和6年2月から3月頃になるかと思います。

### 地震及び大雨等による被害状況について

#### (平塚副館長)

本丸跡の天守閣ですが、5月11日早朝の地震により、屋根上の2つの鯨瓦が損壊し、尾の部分が落下していたり、かろうじてぶら下がっていることが発覚しました。落下した瓦は、1階の屋根瓦の一部も壊しています。地震直後の余震も心配されたので、天守閣は立ち入り禁止とし、遠くから外観だけにご覧いただける措置をとりました。しかし、その後6月初旬、台風2号接近に伴う大雨により、資料館から天守閣に向かう登城道で大きな路肩崩落が発生してしまいました。

現在、資料館から天守閣へいく登城道は通行止めにし、天守閣の見学ももちろんできません。路肩崩落の復旧工事が完了しないことには、その先の天守閣の屋根修理などが実施できませんので、8月議会補正予算を上程予定です。順調にいけば、年明けの2月頃には登城道は復旧見込みですので、天守閣の瓦修理は令和6年度以降になります。

### **(朝倉文化財主事)**

指定文化財については、5月11日の地震後、市内巡回を行いました。久留里地区内の物件で、扉・彫刻の外れ、瓦破損等がみられましたが、大きな影響はありませんでした。

### **令和5年第2回定例会の報告について**

#### **(當眞文化振興担当主幹)**

6月の第2回定例会に請願がだされました。件名は「新井白石没後300年展」を君津市と共催で行うことを願う請願書、請願者は新井白石没後300年展実行委員会代表 坂井 昭さんです。6月16日、教育福祉常任委員会があり、執行部からは、久留里城址資料館においても令和7年が新井白石没後300年の節目の年であり、規模の大小は未定ながら、展示テーマとして取り上げようと検討していたので、請願の趣旨には賛同できるという参考意見を述べました。議会からは賛成討論として、久留里城址資料館においても令和7年に新井白石に関する展示を検討しているとのことなら、新井白石について造詣の深い請願者との共催により充実した内容になると期待される。なお、久留里城址資料館の施設規模や人員体制等を考慮して今後展示内容や詳細を協議し創意工夫をこらして欲しいという意見があり、結果、採択されました。以上、ご報告いたします。

#### **(木曾野会長)**

(4) その他での報告・協議は終了しました。委員から何かございますか。

#### **(渡邊委員)**

市民が九十九坊廃寺址や平安仏等を調べたい時はどこに聞けばいいのでしょうか。

#### **(曾我文化財主事)**

生涯学習文化課と久留里城址資料館に問い合わせがきますので、内容によって、どちらかが対応しています。例えば、仏像を調査したいという場合、お寺の連絡先を知りたいという問い合わせがほとんどです。生涯学習文化課や資料館が所有者に連絡し、許可があれば連絡先を伝えています。

#### **(渡邊委員)**

私自身、地域のことを調査しようと思って寺等を訪ねても、話を聞くのも見るのも大変です。市民が個人で調査するハードルが高い。スムーズにできるようなしくみがあればと思います。

#### **(當眞文化振興担当主幹)**

近年は文化財盗難等も多く、決まった公開時以外の見学希望には慎重な所有者も多いのが現状です。警備体制等が万全ではない場所が多いですから、最近の文化財を取り巻く時勢と所有者側の状況も理解いただければと思います。

#### **(御簾納委員)**

君津市史が刊行されて20年程たちましたが、この間新たに発見された資料について、増補版を刊行するような計画はありますか。

**(眞文化振興担当主幹)**

増補版の作成計画は現在ありません。新しい情報は積み上げていきたいので、何かありましたら連絡をお願いします。

**(小高委員)**

市史等に掲載されていないものは、情報が埋もれていく可能性が高いですから、補足できる、ストックしておける手段があるといいですね。

**(高橋委員)**

「市史研究」などのタイトルで刊行物を定期的に作成している市町村もありますけど、君津市はないのですか。

**(眞文化振興担当主幹)**

生涯学習文化課の刊行物作成は、発掘調査報告書以外はなりません。資料館では、各年度の活動成果をまとめた年報を刊行しており、そのなかで資料調査成果等の報告もしています。

**(渡邊委員)**

方法はいろいろですが、積み上げた情報を外に出せるといいと思います。

**(木曾野会長)**

他にございますか。

ないようですので、これで終わります。

長時間にわたり、ご協議いただきありがとうございました。

事務局へ進行をお返しします。

10 閉 会

**(塚越課長)**

以上をもちまして、第1回文化財審議会を閉会いたします。長時間にわたりお疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、事実と相違ないことを証します。

令和5年7月31日

君津市文化財審議会  
会 長 木曾野 正勝